

# 横浜銀行アイスアリーナと連携した教職員スキル向上研修 ～アイススケートを通じて横浜の魅力に迫ります～

横浜市立学校教職員のスキルアップ(授業力・教師力 up)を目的とした「北部ハマ・アップ オリジナル講座」を横浜銀行アイスアリーナで開催します。今回のテーマは「アイススケートを通して横浜の魅力に迫る」と題し、開港以来、「よこはま事始め(※横浜で誕生し全国へ広がっていった文化等を指す)」の1つでもある「アイススケート」がどのように横浜に定着していったかについて学びます。

国内で最も歴史ある通年オープン型屋内市民スケートリンクで実際に滑ることを通して、「体育の授業」における基礎・基本の大切さを実感し、「総合的な学習の時間」の学習対象を見つける視点についても学べるように横浜らしさを生かした研修会を実施します。

## 1 概要

開催日時:令和7年8月19日(火) 午後1時15分～午後5時00分

開催場所:横浜銀行アイスアリーナ(神奈川区広台太田町1-1)

受講者:横浜市立学校の教職員80名程度(予定)

## 2 研修内容

### (1) 横浜におけるアイススケートの歴史についての学習

「氷すべり場」から始まったスケートの歴史を振り返り、横浜の歴史と魅力について学びます。

### (2) アイススケートの滑り方についての実践

実際に滑ることを通して、その楽しさや難しさを実感し、体育授業で子どもたちに教える際の安全管理やけが防止について学びます。

## 3 取材について

当日取材を希望される場合は、8月18日(月)17時までに問合せ先(教育委員会事務局北部学校教育事務所学校教育支援課)までご連絡ください。



▲現在のアイスアリーナ



▲昭和42年のスケートリンクの様子

裏面あり



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 【参考】

### ☆ハマ・アップについて

教育三法改訂(平成18年)の1年前、平成17年に横浜市教育委員会は他都市に先駆けて、「教員の授業力向上、自己啓発力の促進、そして教員間のネットワークの広がりを支援すること」を目的として、当時関内駅前にあった横浜市教育文化センター5階に授業改善支援センター(ハマ・アップ)を開設しました。

「ハマ・アップ」という愛称は、多くの方々の公募から「教員の授業力アップ・教師力アップを支援する場に！」という願いを込めてつけられたものです。その年に「授業づくり相談」を開始するとともに、平成18年からは、指導主事、教育顧問(後の支援員)による「授業づくり・学級づくり相談」、指導主事や支援員による「授業づくり講座」も開始され、「指導案コーナー」開架等を行いました。現在、指導案は2万件以上を有しています。

この本市の教員育成のための祈願ともいうべき仕組と機能は、他県・他都市の教育センターに類を見ない貴重なものでした。平成23年東日本大震災の痛手を受け、教育センターの施設は失いましたが、現在は、本市4方面学校教育事務所の中に「ハマ・アップ」を設置し運営しています。

※令和6年度の「授業づくり講座」の実績は、137講座、参加者数1917名、「授業づくり・学級づくり相談」参加者数1185名

本講座は支援員による主催で今年度から「オリジナル講座」と名称を新たにしています。教員のニーズに応じた研修を年間4講座ほど実施しています。本市の教員を目指す若者の中には、「横浜は、ハマ・アップもあって教員への支援体制が充実していること」を挙げる方も多いということです。

ハマ・アップ(横浜市授業改善支援センター)

URL: <https://www.edu.city.yokohama.jp/tr/ky/hamaup/theme04/index.htm>



### ☆本講座の趣旨について

開港という我が国の大きな歴史的転換点に伴って、黒船などで来日した外国人が江戸末期に横浜の地でアイススケートをしたという史実があります。横浜開港資料館にもそのポンチ絵(慶応元年)等が所蔵されています。戦後、日本貿易博覧会が横浜で開催され、飛行機の格納庫を活用して演芸館が造られました。1951年にその演芸館が神奈川スケートリンクとなり、国内最古の屋内スケート場として運営が始まりました。

今年度でリニューアル10周年を迎えた「横浜銀行アイスアリーナ」でのスケート実習とともに、教員がその歴史的背景を知ること、そして、施設が貴重な地域の学習教材や対象となり得ることなど、体育科のみならず総合学習として、「よこはま事始め」の一つを授業に活かすことをねらいとしています。

また、学習指導要領(保健体育科)では、「内容の取扱い(4)

『自然とのかかわりの深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、地域や学校の実態に応じて積極的に行うことに留意すること』を受けて、スケート実習を通して、地域や学校の実態に応じて教員がカリキュラムを工夫改善していくことへの着眼点につながるのとらえています。



#### お問合せ先

教育委員会事務局北部学校教育事務所学校教育支援課長 込江 茂久 TEL: 045-944-5957



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

